

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/02/28号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

ロシアのウクライナ侵攻で一時100ドル突破

NY原油先物相場は、1バレル=100.54ドルまで急伸した後、91ドル台中盤まで急反落して引けている。ウクライナ情勢を巡っては、米口首脳会談の開催による外交的解決も可能との見方が浮上していたが、2月22日にロシアのプーチン大統領はウクライナ東部の親ロシア派勢力が支配する2地域を独立国として承認し、「平和維持」のための軍派遣を決定した。24日には実際にロシア軍のウクライナ侵攻が始まり、供給不安から原油相場は100ドルの節目を突破する急伸地合を形成した。2014年7月以来の高値を更新している。ただ、週末にかけては短期的な材料出尽くし感、過熱感の強さ、停戦協議開始への期待感から利食い売りが膨らみ、高値からは10ドル幅の急落地合が形成される荒れた展開になっている。

ロシアのウクライナ侵攻が開始され、原油を含むマーケット環境全体が極端に不安定化している。プーチン大統領が最終的な着点をどのように考えているのか、更に欧米諸国などが対ロシア制裁をどのような形で展開していくのかも、不透明感が強い。週の高値100.54ドルに対して安値は89.06ドルとなった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (2月18日時点) は、原油が前週比451万バレル増、ガソリンが58万バレル減、石油精製品が58万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

供給不安材料視だと改めて100ドルも、乱高下が続く

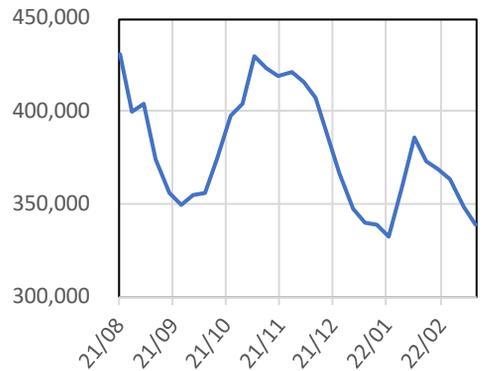
ウクライナ情勢が急展開していることで、激しい値動きが続く見通し。ロシアのウクライナ侵攻が始まったことで短期的な材料出尽くし感もあり、停戦協議が本格化すると、原油相場も鎮静化に向かう可能性がある。一方で、ウクライナ国内では激しい戦闘が続いており、各国が対ロシア制裁を断続的に発表している。週末の2月27日にはロシア大手銀行を国際決済網から排除する制裁も決まり、供給不安が材料視されると急伸地合が再開される可能性も抱えている。基調としては、根強い供給不安から下値は固いと評価できるが、最近の上昇ペースは持続可能なものではなく、上下双方に値が飛び地合を想定しておく必要がある。

ロシア大手銀行の国際決済網からの排除については、エネルギー取引や決済に大きな影響を及ぼさない方針も示されている。ただ、現実問題としてロシア企業、金融機関との取引そのものが大きなリスクを抱えた状態になる中、高いレベルの供給不安を抱えることになる。

3月2日には石油輸出国機構（OPEC）プラス会合が開催されるが、増産ペース加速の議論は活発化していない。ロシアが他産油国に代替供給を求める可能性は殆ど存在せず、難しい判断を迫られるが日量40万バレルの増産ペースが維持される可能性が高い。

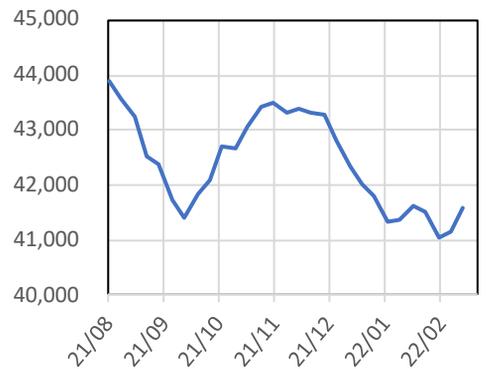
一方、イラン核協議については合意形成が近いとみられている。既に最終合意に近い文書が作成されていると報告されており、核合意が成立すると瞬間的に大きく下押しされる可能性がある。逆にここで協議が決裂すると、サプライズ感の強さから一気に急伸地合が形成される可能性が高い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



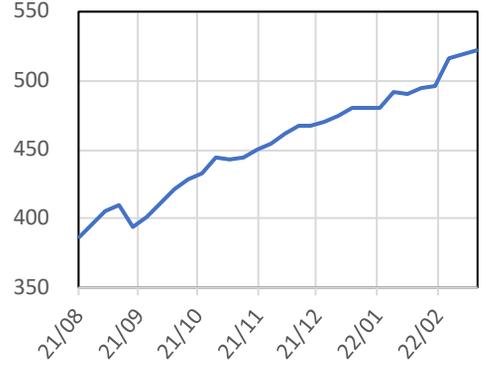
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

